

I コリ 1:30 **しかし、あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神からわたしたちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました。**

(I コリントのライフスタディ第九編からの抜粋)

三〇節で句読法と文法は意義深いです。「知恵」という句の後の「すなわち」という言葉は、知恵がそれに続く三つの項目、義、聖別、贖いを含むことを示します。ギリシャ語の文法によれば、「と」が二つの項目ではなく、三つの項目に関して使われています。訳はギリシャ語にしたがって正確です。三〇節でパウロははっきりと、キリストは「わたしたちに至る神からの知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました」と言います。この知恵は義、聖別、贖いを含みます。

……キリストがわたしたちの過去のための義、現在のための聖別、将来のための贖いであると言うことは確かに正しいです。わたしたちは主イエスを信じて義とされた後、聖い生活、聖別された生活をする必要があります。聖別の主観的な経験は、造り変え、わたしたちの魂の中で起こる過程を暗示します。わたしたちの体の贖いは将来、起こるでしょう。ですから、わたしたちは主を信じた時、霊の中で再生されました。今やわたしたちは、魂の中で造り変えられ、聖別されつつある過程にいます。将来、わたしたちの体は贖われ、変貌されるでしょう。

この理解は正しくても、わたしたちはこれが三〇節の解釈であることを指摘しなければなりません。それは解釈ですから、ここでパウロの意味していることがそれによって制限されるのを許してはなりません。そう
です、罪人が完全に救われるには三つの段階、すなわち霊の中の再生、魂の中の聖別、体における贖い、変貌を経過しなければなりません。この過程が完了する時、わたしたちは主イエスと同じになるでしょう。ヨハネの第一の手紙第三章二節によれば、わたしたちは彼に似るでしょう。なぜなら、わたしたちはあるがままの彼を見るからです。今日わたしたちは体では主のようではありません。しかし、わたしたちの体の変貌され、完全に贖われる時、わたしたちは完全に彼に似るでしょう。

義、聖別、贖いは、ただわたしたちの過去、現在、未来に関するだけではありません。わたしたちは日ごとにキリストを義、聖別、贖いとして必要とします。毎日わたしたちは、一つの事柄においてだけでなく、すべての事柄において、義である必要があります、聖別される必要があります、贖われる必要があります。例えば、子供を取り扱う時、ある親たちはまだ古い方法で振る舞うでしょう。ですから、これらの親たちは、子供たちに関して義

とされ、聖とされ、贖われる必要があります。

最近、出エジプト記のライフスタディで、贖いは三つの事柄、終結、置き換え、神に戻されることを含むと指摘しました。神はわたしたちを贖う時、わたしたちを終わらせ、キリストで置き換え、ご自身に戻されます。

日常生活のあらゆる事に関して、わたしたちは終わらされ、キリストで置き換えられ、神に戻される必要があります。子供たちを取り扱う方法がまだ古い方法であるなら、終わらされ、キリストで置き換えられ、神に戻される必要があります。そうすれば、わたしたちは子供の取り扱いの事柄に関する限り、贖われるでしょう。

わたしたちはまた召会生活において、多くの事柄でまだとても天然적입니다から、贖いを必要とします。ある人たちはある兄弟、ある姉妹を好みません。別の人たちは青年たちへの、あるいは年配の人たちへの正しい配慮に欠けます。さらに他の人たちは、特定の長老に好みがあります。これらすべては天然の命と関係があり、贖いの必要を示します。ですから、召会生活の中で、わたしたちは終わらされ、キリストで置き換えられ、神に戻される必要があります。わたしたちはすべての事で義とされ、聖別され、贖われる必要があります。キリストが神からわたしたちに至る知恵となられる時、最終的にすべてのことで彼はわたしたちの義、聖別、贖いとなられるでしょう。このパウロの思想は何と深く深遠なことでしょう！